

富士第一小学校だより

かじま

6月号

令和4年5月23日



校訓 『強い体 強い心』
 学校教育目標 『しなやかに 挑み続ける ～支え合い 一歩踏み出す子～』
 重点目標 『あなたもわたしも 笑顔いっぱい!』

「良い環境が良い子どもを育てる」

校長 齊藤 隆裕

新緑のさわやかな季節となりました。令和4年度も、もう2か月が過ぎました。子どもたちは、新しいクラスの友達と毎日元気に学校生活を送っています。

5月22日(日)に行われましたPTAクリーン作戦には、多くの保護者の皆様や子どもたちが参加してプールや校舎外の環境をきれいに整備してくれました。おかげさまで、今後行われる水泳の授業や休み時間の外遊びなどを、安全に気持ちよく行うことができます。本当にありがとうございました。

本校の校庭には、「希望の庭」があります。理科や生活科などの授業では、子どもたちがそこに集まり、生き物の様子を観察したり、草花に触ったりして楽しんでいます。

また、これから、1年生は朝顔、2年生は野菜の世話を行っていきます。このようなことを通して、子どもたちに、自然を感じたり、植物や動物の命を感じたりして、命を大事にしようとする心情を育てていきたいと思えます。

さらに校舎内においては、どの学年も、靴箱の靴がきちんとそろっていること、廊下等に余分な物が置かれていないこと、どの子もノートをきれいに書こうと頑張ることなど、教育環境や学習環境をきちんと整えていきたいと思えます。

校外におきましても、明るい挨拶を地域にも広げていきたいと考えています。明るい挨拶は、した方もされた方も気持ちがよくなり、自然と笑顔になるものです。このことは、本校の重点目標「あなたもわたしも 笑顔いっぱい」を具現化することにつながります。毎朝、通学路を歩いていると、地域の方が外に出て子どもたちに「行ってらっしゃい」「おはよう」と、笑顔で声を掛けて下っています。それに応えて子どもたちも元気いっぱいに挨拶を返しています。コロナ禍であるため、中には声を出せずにいる子や友達との話に夢中で気付かない子もいます。そういう姿を見て、挨拶ができないと捉えるのではなく、大人の方から挨拶を積極的にすることで、自然に挨拶ができる子どもを育てていきたいと思えます。(これは私自身にも言えることです。)

良い環境は良い子どもを育てます。これからも、学校内外の様々な環境を良くし、子どもたちの「豊かな心」を育てていきたいと思えます。

今後も、地域と共にある学校を目指し、学校の教育活動へのご協力をよろしくお願い致します。